

事業名：食品支援を基盤にした困窮世帯の子どもの体験格差是正のための資金分配事業

事業種別：物価高騰及び子育て対応支援枠

解決すべき社会の諸課題：子ども及び若者の支援に係る活動、経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援

資金分配団体:特定非営利活動法人グッドネーバース・ジャパン

申請団体一覧（法人格を除いた五十音順）

| 団体名 | 所在地 | 事業名 | 事業概要 |
|---|-----|---|--|
| 特定非営利活動法人空家・空地活用サポートSAGA | 佐賀県 | コミュニティフリッジ利用者200世帯の子供の体験格差解消事業（副題）地域CSO・企業との連携による継続した体験格差解消を目指す | 佐賀市内の当会の登録ひとり親世帯約200世帯への食支援をしつつ、当会運営の居場所への子ども参加をさらに促し、居場所の子どもと、フリッジに登録している子どもへ、9ヶ月間毎月の体験機会を提供する。特に、畑や野外観測（山や川含む）などの自然体験を中心（当会の居場所での文化体験等含む）に、支援NPO・市民団体と連携をした提供をする。同時に、本取り組みをPRし、特に近年SDGsからも支援事例が増えている県内の企業との連携した体験提供をし、事業終了後も企業のプロボノとしての継続機会提供を構築したい。食支援においては、登録ひとり親世帯約200世帯への毎月（週1回提供を予定）提供を実施する。また、居場所そらはフリッジの近くでもあるので子どもたちの拠り所になるようここでも食支援を実施する。 |
| NPO法人いるか | 福岡県 | 福岡県における困窮世帯の子どもやひとり親家庭等への食提供及び体験事業 | 生活困窮世帯やひとり親世帯の子どもたちを支援するため、食の提供を通じて心の安定をもたらす、学びの機会や居場所を確保し、心身の成長を促進する。寄付食材や学用品、本、衣類を利用し、緊急性に対応した食数の増加を目指して、ボランティア団体と連携し、急速冷凍弁当の製造・配布を実施する。最初に冷凍食品を管理できる地域で2,000食を目標に無償提供し、最終的には福岡県全域へ拡大する。また、フードバンク活動のない地域でも支援を行い、70,000世帯への食材等の提供を目指す。体験活動を通じて、県内で居場所を提供し、学習支援や食事の機会を展開し、270世帯の子どもたちに学びや異学年交流の場を提供する。季節のイベントや音楽イベントなどの非日常体験を実施することで、子どもたちの楽しさや意欲を引き出し、希望を育むことを目指す。地域の行政や社会福祉協議会、支援組織と連携し、弊団体だけでは支援が行き届かない世帯への支援を広げていく。 |
| 特定非営利活動法人親の学び舎 ＜コンソーシアム申請＞ ・センスオブワンダー ・一般社団法人子ども基地局 ・POSかすや | 福岡県 | 未来つなぐ子ども応援プロジェクト（副題）食と体験で広がる笑顔の輪 | 地域のつながりの希薄化や物価高騰による貧困家庭の増加に対応し、住民が交流できる移動式の地域食堂を実施する。公的機関だけでは支援が難しい現状を踏まえ、地域の支え合いを再構築し、子どもから大人までが共に食事をしながら情報交換できる場を提供し、孤立を防ぐ。 また、子どもたちの体験活動の機会不足を解決し、成長を支援するために、障害の有無に関わらず誰もが参加できる体験会を開催する。事前に保護者や関係機関のニーズを調査し、幅広い経験を通じた成長や就労のイメージの形成を促進する。さらに、農業体験を通じて食の大切さを実感できる機会を提供する。体験を通じた学びの場を増やし、地域全体で子どもたちの未来を支える。 加えて、地域の孤立問題や支援活動の重要性を広く発信するため、チラシ・HP・SNSを活用し、年間3種類以上の情報を発信する。地域団体や行政と連携し、最低10組織以上のネットワーク構築と、地域内15か所以上の拠点で周知を図り、より多くの人に支援の輪を広げる。 これらの活動を通じて、住民同士のつながりを強化し、継続的な支援の仕組みを築くことを目指す。 |
| 一般社団法人タウンスペースWAKWAK | 大阪府 | 低所得のひとり親家庭をはじめ社会的不利を抱える家庭のSOSを官と民、多セクター連携により発見し支援を届ける事業 | 物価高騰が低所得のひとり親家庭や生活困窮者など、様々な社会的弱者に影響を与える中、民と民、官と民連携により地域全体で支えることを目的に、大阪府高槻市を主な支援拠点として大阪北部北摂エリアの複数市（茨木市、吹田市、豊中市、箕面市、摂津市など）で地域の支援活動を展開する。食支援を中心に学習支援や体験活動を提供しながら、地縁組織、NPO、フードバンク、行政、社協、企業、大学と連携し、社会的不利を抱える家庭への支援ネットワークを構築する。これら多様な分野の支援団体との相互連携や包括支援を行うことで、民と民、官と民による誰も取りこぼさない地域を生み出す。昨今の子どもの貧困や社会的孤立の問題に対する官民、多セクター連携の実践事例は少なく、当事例を通じて得られた知見を大阪大学との共同研究で明らかにし、それをメディアを通じて広めることで、他地域へと波及する。 |

| | | | |
|-----------------------------|------------|---|--|
| <p>一般社団法人チョイふる</p> | <p>東京都</p> | <p>足立区における分散型フードセーフティネットワーク拠点の構築事業（副題）分散型ネットワークで支える子どもたちの未来</p> | <p>食料支援事業：宅配と4つの拠点で、延べ2,200世帯へのアウトリーチ ①こども宅食（宅配型）：月100世帯×10か月=1000世帯 ②フードパントリー（拠点受取型）：月120世帯（1拠点あたり30世帯）×10か月=1200世帯 居場所事業：4拠点の居場所、120名の子ども達と信頼関係を築く ①食事や体験活動の提供を行うオフラインの居場所：既存の3拠点に加えて、1拠点を新設する ②オンラインゲームを活用したオンラインの居場所：4拠点をオンラインで繋ぎ、経済的困難を抱える不登校のお子さん（フリースクールに通えない）にもアウトリーチ ※居場所は既存の3拠点に加えて、1拠点を新設する。同時に、拠点は食品保管倉庫の機能も果たし、フードパントリーの受取拠点にもなる。従来の「一カ所に集約された福祉拠点」ではなく、小規模で分散型の福祉拠点を地域の団体と共同でまちじゅうに点在させる。 伴走型相談支援事業では、経済的な困難を抱える1,000世帯の子育て家庭への支援を行い、医療ケアや発達特性に関する専門団体と協力しつつ、すでに支援が行われている約500世帯の家庭と新たに500世帯の家庭を社会資源に繋げる取り組みを進めていく。相談支援用のLINEを利用し、友達追加を通じてつながりを深める方針である。</p> |
| <p>特定非営利活動法人 DeepPeople</p> | <p>大阪府</p> | <p>食でつながる笑顔の輪「フードスマイリング」</p> | <p>1,食品支援 障がい者が生産した食材を子ども食堂に寄贈することで、福祉事業所で働く方々の工賃の向上も同時に行う。また地域のスポーツチームとフードドライブを実施し、集まった食品を福祉事業所で仕分け・検品し、地域の子ども食堂に寄贈する。 2,体験活動（食育） 福祉事業所や地域の農家で収穫体験を行い、収穫物を持ち帰ることで食支援にも繋げ、日本の就農者の高齢化問題に対する意識を高め、農業の魅力を知る機会とする。クッキング教室では食に関する企業に依頼し、食の安全や食品ロス削減などSDGsに関する取り組みについて学び、職業の話も聞く機会と企業から寄贈された食品や物品を提供する。また、上記1で実施するフードドライブ活動に子ども食堂の子どもたちも参加し、地域での活動を促進するとともに、フードドライブ後にはスポーツ観戦も行う。</p> |
| <p>公益社団法人日本駆け込み寺</p> | <p>東京都</p> | <p>東京23区ひとり親世帯の経済的格差是正事業</p> | <p>東京都で行っているひとり親支援サービスの利用が少ないことや、ひとり親同士が相談できる場所や繋がりが生まれにくい背景を踏まえ、本事業では東京23区内在住の低所得のひとり親世帯を対象に大きく2つの活動を実施する。 1つは毎月1回の食糧支援として、フードパントリー形式で食糧を配布し、交通手段が無い世帯や乳児がいる場合には指定住所まで配送する。申請はLINEを通じて行い、毎月3,000世帯への食糧配布を目標とする。2つ目は、親子向けの体験プログラムを毎月実施し、参加者が親子で一緒に様々な活動に参加できるよう、清掃活動、子ども食堂での食育イベント、書道体験、無料学習支援などを実施する。参加もLINEを通じて申請し、参加後にはアンケートを実施して親子の要望にできるようにする。この活動をきっかけに親子間の会話ややりとりが増えること、さらには経済的負担の軽減を通じて親子の関係性が向上することを目指す。</p> |
| <p>一般社団法人ハートフルファミリー</p> | <p>東京都</p> | <p>ひとり親家庭の子どもへの食品支援および異言語・異文化体験・英語学習機会の創出</p> | <p>生活困窮状態にあるひとり親世帯の子ども（幼児・小学生）を対象に、定期的な食品の提供と英語プログラム（オンライン・対面交流イベント）の参加を通じて、将来の可能性を広げるための機会を創出する。 食品は寄付を受けて調達してコストを抑制し、英語プログラムの開発・実施の充実化を図る。英語プログラムは月1回のオンライン講座と週2回の動画配信により、子どもたちの英語学習の習慣化、家庭内での英語使用を促進し、親子間のコミュニケーションを活性化させる。対面交流イベントでは、外国人とコミュニケーションを図ることで異言語・異文化への理解を深める契機とする。 英語プログラム参加者の拡大を目指し、毎月継続して非課税世帯への食品の個配送や、地域に根ざした提携団体や自団体のネットワークでのパントリー活動を通じた案内を実施する。 本事業では、9ヶ月間子どもたちに文化的体験を提供するとともに、保護者との信頼関係を構築し、経済的・精神的自立を支援するプログラムへの参加を促し、事業終了後3年以内に、参加実績のある世帯の50%が生活困窮状態を克服することを目指す。</p> |

| | | | |
|----------------------------------|------------|--|---|
| <p>特定非営利活動法人フードバンク北九州ライフアゲイン</p> | <p>福岡県</p> | <p>子どもの安心安全な居場所づくりにつながるための食料支援を基盤としたつながりづくり事業</p> | <p>北九州市の調査から推定される市内約15,000世帯の経済的に厳しい子育て世帯とつながり、必要な支援を届けることを目指し、現在、北九州市いのちをつなぐネットワーク窓口との連携で、毎月約150世帯に対して継続的に食料支援を行い、夏冬長期休暇中には2,600世帯に食品を配布している。その中で経済的、精神的困難を抱える保護者、その家庭で育つ子どもたちの自己肯定感の低下や将来への希望の欠如が根底にあり、教育格差や問題行動を生じさせている。そこで、食料支援を通じたつながりや居場所の体制強化のため、以下の取組を行う。</p> <p>①「継続食料支援と定期的な食品配布」…月に1回の継続食料支援に加え、連携先を拠点とした定期的な食品配布を実施する。</p> <p>②「つながりづくり」…連携先（食品提供先福祉施設、行政、教育機関等）との顔の見える関係づくりを強化、必要に応じて連携先へつなぎ・同行訪問を行う。</p> <p>③「居場所づくり」…子どもが安全安心な環境に必要なサポートを受けることができるよう、子ども食堂・学習支援、フリースペース等の情報提供、地域の学校へのアプローチとして校内での居場所づくりについての協議を進めていく。また、居場所等の体制強化として人材育成研修会を開催する</p> |
| <p>一般社団法人福岡国際市民協会</p> | <p>福岡県</p> | <p>福岡県における海外ルーツの子育て家庭を含む低所得家庭の子どもを対象にした食支援および体験活動の提供</p> | <p>福岡県における子どもの貧困率は全国平均を上回り、特に非課税世帯やひとり親家庭など生活困窮世帯が弊会子ども食堂の利用者の約8割を占めている。さらに、外国にルーツを持つ家庭は言語や制度の障壁から支援を受けにくかったり、孤立する場合が多く、本事業で、生活に困窮し支援が届きにくい家庭の子どもたちの「食」と「体験」の格差是正を目的とした支援を実施する。</p> <p>【食支援】 活動①毎週土・日曜日に子ども食堂を開催し、食事に困難を抱える子どもに食事を提供 活動②SNS等で情報周知を行い、食支援を希望する家庭へ食材を配布。拠点での受け取りに加え、来訪が難しい家庭には郵送で食材を届ける「こども宅食」も実施</p> <p>【体験活動】 活動③毎週日曜日にSTEAM教育スペースを開設し、多様な学びの機会を提供 活動④月1回、社会見学や職業体験、文化交流イベント等を実施</p> <p>【情報発信・ネットワーク】 活動⑤チラシ・HP・SNS・社協等を通じた多言語での情報発信を行い、県内外の団体と連携して活動を展開。</p> |
| <p>特定非営利活動法人夢職人</p> | <p>東京都</p> | <p>経済的に困窮する子育て家庭への食と体験の緊急支援事業</p> | <p>近年の物価高騰により、ひとり親家庭や低所得家庭は必要な食事や体験の機会を失い、厳しい状況に直面している。こども食堂が広がる一方、開催頻度や時間が限られており、困窮家庭を日常的に支えることは難しく、また、フードバンクの食品確保もSDGsやフードロス削減の観点から厳しくなっている。このような背景から、スマートフォンを活用し、地域の店舗と連携してデジタルクーポンを提供し、家庭のニーズに応じた新たな支援のあり方を展開する。このアプリでは、教育や就労に関する支援情報も提供し、地域の新たなセーフティーネット構築を目指す。また、親子で参加できる日帰りツアーを造成し、関東近郊で自然や科学文化に関する体験を提供する。ひとり親家庭の多くが経済的な側面だけでなく、親子で時間を共有できる機会も限られており、体験活動の機会を通じて親子間でのコミュニケーションを深められるようにし、日常生活の中にも良い効果が得られることを目指す。</p> |